

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	選択
担当教員			
黒澤 祐介			
月4、月5、木4			
添付ファイル			

科目の概要	現代の社会では、さまざまな形で家庭支援・子育て支援の取り組みが行われている。家庭支援を行っていくためには、現代における家庭の状況を知り、子育て関連の政策の動向を学ぶ。また、保育所・幼稚園・地域子育て支援センターなど、子育て支援の具体的な取り組みから、家庭支援・子育て支援の方法について学ぶ。
授業の内容	<p>第1回 子ども家庭支援の意義と必要性 子ども家庭支援の意義について理解し、少子化社会対策と子育て支援について知る。</p> <p>第2回 現代の家族を取り巻く社会状況 少子社会における家族の様相を知り、現代の子育て家庭に関わる諸問について考える。</p> <p>第3回 子育て支援施策 子育て支援政策の流れ、少子化対策から子ども・子育てビジョン、子ども・子育て支援新制度への変遷を学ぶ。</p> <p>第4回 子育て家庭の福祉と社会資源 社会資源とは何かを理解し、その担い手、連携、活用の方法について知る。</p> <p>第5回 保育所における家庭支援 特別な配慮を必要とする子どもと保護者への支援や、子育てをする地域の保護者とその子どもに対する支援を学ぶ。</p> <p>第6回 地域子育て支援センターにおける家庭支援 地域子育て支援センターの機能と特性、親子が交流する場の提供と交流の促進について学ぶ</p> <p>第7回 幼稚園における子ども家庭支援 幼稚園に求められる子育て支援や預かり保育とその工夫 について学ぶ</p> <p>第8回 保育の専門性を活かした子ども家庭支援 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義について理解し、保育所保育指針から子どもの育ちの喜びの共有について考える。</p> <p>第9回 保育士に求められる基本的態度 保育士と保護者との信頼関係の形成について理解し、バイステックの7原則から保育士に求められる基本的態度について考える。</p> <p>第10回 家庭の状況に応じた支援 家庭の状況に応じた支援を行ううえで保育者に求められる姿勢を理解し、継続的な支援の必要性について知る。</p> <p>第11回 子ども家庭支援の対象理解 子ども家庭支援の対象となる、さまざまな子ども・保護者・地域について里香氏、それに応じた相談援助技術、アプローチ方法について知る。</p> <p>第12回 要保護児童およびその家庭に対する支援 要保護児童の全体像および家庭的背景について理解し、支援の枠組みとあり方について知る。</p> <p>第13回 子ども家庭支援の場における人と環境 子ども家庭支援の人的環境、物的環境の工夫を知り、関連機関との連携について学ぶ。</p> <p>第14回 地域の子育て家庭への支援 子ども・子育て支援新制度に基づく地域こども・子育て支援事業について理解し、地域の子育て家庭への支援者の姿勢を学ぶ。</p> <p>第15回 子育て支援に関する課題と展望 子育て支援ニーズの多様化について理解し、海外の子育て支援施策の動向について知る。</p>
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における、子育て家庭の現状について理解できる ・家庭支援・子育て支援の政策の歴史的変遷を理解できる ・子育て支援の具体的な取り組みを学び、家庭支援の方法を身につける ・家庭支援を行うものとしての態度を身につける
授業の方法	講義形式で行う。
成績評価の方法	授業内小課題（40%）、レポート試験（60%）により評価する。
教科書・テキスト	一般社団法人全国保育士養成協議会監修、西郷泰之・宮島清編（2018）『ひと目でわかる保育者のための児童家庭福祉データブック2019』中央法規出版
参考書	特に指定しない
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	子育て家庭に関するニュースなどに関心を持ち、毎回講義の初めに前回講義の内容に関する小レポートを行うので、復習をしておくこと。

履修上の留意事項	適宜、ディスカッション、発表を行ってもらうので、主体的な態度での受講を望みます。
オフィスアワー	火曜日 3 限目
担当教員への連絡方法	y-kurosawa@osaka-aoyama.ac.jp
その他	